阪航工契第462号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件　　名　三河ARSR局舎外2棟改修工事

開 札 年 月 日　令和8年9月28日　　（落札決定日　令和8年10月27日　）

入 札 執 行 官 署　大阪航空局

落　札　金　額　￥57,200,000 －

落　　札　　者　株式会社高坂工業

予　定　価　格　￥67,485,000 －

積　　算　　額　￥67,485,000 －　　入札書比較価格（予定価格の100/110）　￥61,350,000 －

調 査 基 準 価 格　￥61,836,357 －　　調　査　基　準　価　格　の　100/110　￥56,214,870 －

基　準　評　価　値　162.999

低入札価格調査実施済　第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点161.5点)	第２回入札						摘　要
		入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	
株式会社高坂工業	127.0	52,000,000	244.230	○				落札
株式会社ユウキ建設	147.0	60,353,015	243.566	○				
株式会社ブランドシー	－	84,900,000	－	－				
東洋建設株式会社	－	辞退	－	－				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第３位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（１円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年10月27日に落札者を決定した。

総合評価落札方式評価点内訳（施工能力評価（Ⅱ型）・施工体制確認型・企業能力評価型）

件　名　：　三河ARSR局舎外2棟改修工事

入札参加者	標準点	加算点						施工体制評価点			技術評価点
		技術提案	企業の施工能力	配置予定技術者の能力	賃上げ実施の表明	WLB等を推進する企業	計	品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	計	
株式会社高坂工業	100	－	16.0	－	1.0	0.0	17.0	5.0	5.0	10.0	127.0
株式会社ユウキ建設	100	－	16.0	－	1.0	0.0	17.0	15.0	15.0	30.0	147.0
株式会社プランドシー	100	－	16.0	－	0.0	0.0	16.0	予定価格超過			
東洋建設株式会社	100	－	16.0	－	1.0	0.0	17.0	辞退			

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件　　名：三河ＡＲＳＲ局舎外2棟改修工事

発 注 機 関 名 ： 大阪航空局

調 査 対 象 業 者 名 ： 株式会社高坂工業

項　　目	内　　容
(1) その価格により入札した理由	直接工事費については、図面及び参考数量を協力業者に提示し、施工内容等を確認の上見積徴収を行い、内容を確認・精査した上で、入札価格を決定している。 また、共通仮設費および現場管理費については、本工事において必要となる項目ごとに過去の工事実績等により必要額を計上している。一般管理費については、本工事にて必要な経費及び事業経営に必要な経費を会社で決められた率にて計上していることをヒアリングにて確認した。 これらの理由により当該価格にて入札したとのことである。
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	配置を予定している監理技術者は1 級建築施工管理技士の資格を有しており、現場代理人は1 級建築施工管理技士補の資格を有している。また、手持ち工事の状況を確認したところ、監理技術者及び現場代理に現在施工中の手持ち工事は無く、技術者の配置は適正であると思料される。
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している監理技術者は1 級建築施工管理技士の資格を有しており、現場代理人は1 級建築施工管理技士補の資格を有している。また、手持ち工事の状況を確認したところ、監理技術者及び現場代理に現在施工中の手持ち工事は無く、技術者の配置は適正であると思料される。
(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	調査対象者の営業所は工事現場から76.4km（所要時間：約1時間20分）の距離に位置しているが、緊急時には近隣の現場等に応援要請する等の対応を行う計画であることを、ヒアリングにより確認した。
(5) 手持資材の状況	なし。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入については、協力業者にて、調達することを確認した。

(7) 手持機械数の状況		本工事で使用する手持ち機材はなく、必要な仮設、機材については、長年取引実績のある協力業者から調達することを確認した。
(8) 労務者の具体的供給見通し		工種ごとに協力業者の労務者を確保し、適切に配置する予定であることを確認した。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者		過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5 年間（令和3 年4 月1日以降に完成・引渡しが完了した工事）において、公共法人の発注工事23 件の施工実績があり、工事成績評定点（工事成績評定点が通知されているもの）の平均は72.5点であったため、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が4 件あったが、発注者へのヒアリングにより、特に問題なく施工が完了していることが確認できた。
(10) 経営内容		調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討		当該業者は、長年にわたり取引のある業者から集中して資材を調達することで低価格での調達を実現している。また、下請業者と協力関係を確立しており、本工事の作業内容についても十分理解しているため、品質の低下に繋がる懸念は見受けられないと考えている。 過去に同種工事の施工実績もあり、本工事の受注に意欲的な姿勢がヒアリングにより確認できた。 以上のことから、当該事業者は品質を落とすことなく施工が可能であると考えられる。
(12) (9)の公共工事の成績状況		以上の調査事項について確認した結果、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとは言えないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
(13) 経営状況		問題なし。
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項		無